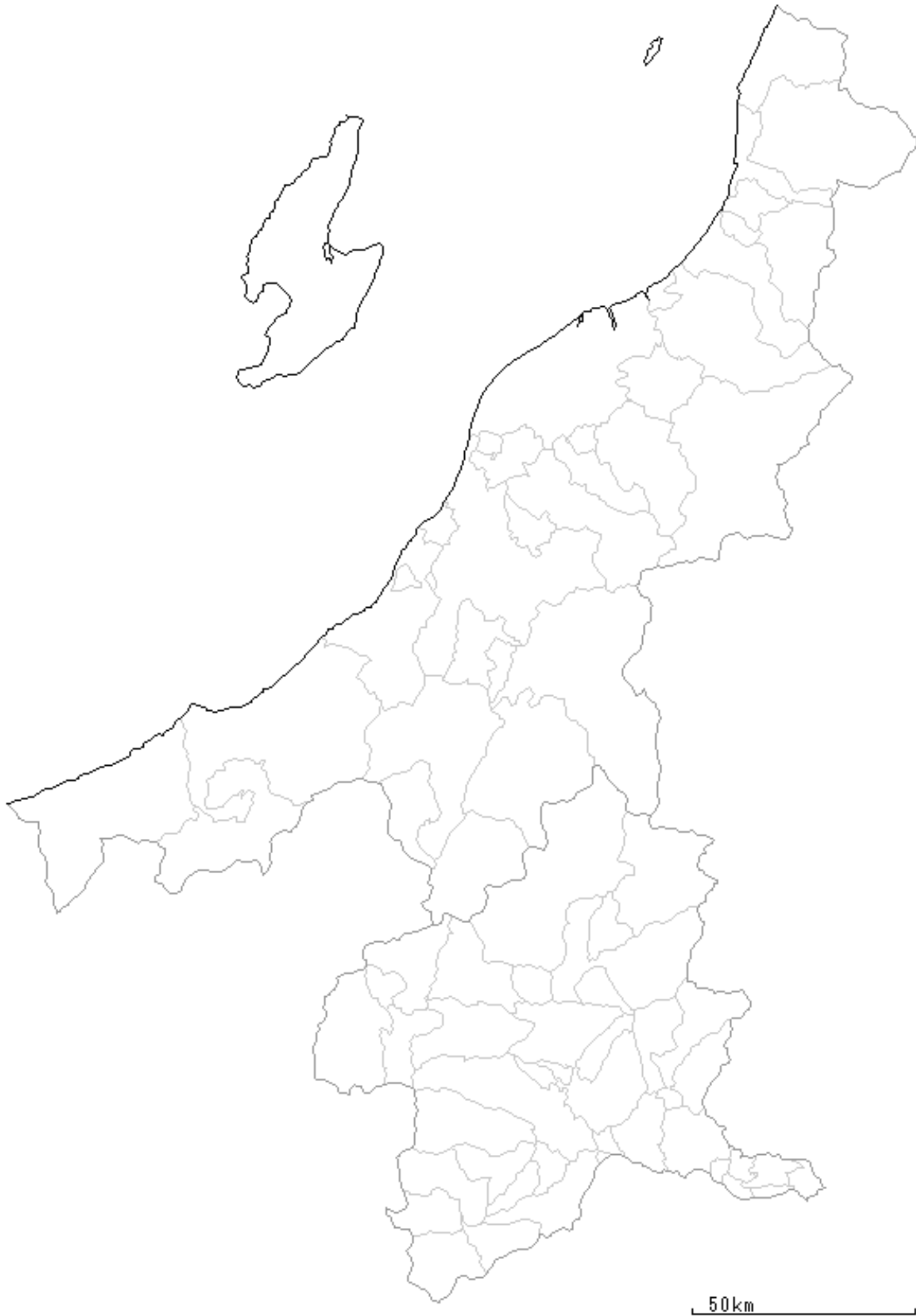


白地図 富山・石川・福井



50km



# 地理動画⑦北陸上越

## 関連サイト

### 福井県

#### 越前大野

[http://cgi2.nhk.or.jp/archives/michi/cgi/detail.cgi?dasID=D0004290021\\_0000](http://cgi2.nhk.or.jp/archives/michi/cgi/detail.cgi?dasID=D0004290021_0000)

#### 幸福度

<http://www.youtube.com/watch?v=wqRRiA05Xt8>

### 石川県

#### 輪島塗

[http://cgi2.nhk.or.jp/archives/michi/cgi/detail.cgi?dasID=D0004990249\\_0000](http://cgi2.nhk.or.jp/archives/michi/cgi/detail.cgi?dasID=D0004990249_0000)

#### 金沢

[http://cgi2.nhk.or.jp/archives/michi/cgi/detail.cgi?dasID=D0004290020\\_0000](http://cgi2.nhk.or.jp/archives/michi/cgi/detail.cgi?dasID=D0004290020_0000)

#### 白山

[http://cgi2.nhk.or.jp/archives/michi/cgi/detail.cgi?dasID=D0004040019\\_0000](http://cgi2.nhk.or.jp/archives/michi/cgi/detail.cgi?dasID=D0004040019_0000)

### 富山県

#### 立山

[http://cgi4.nhk.or.jp/eco-channel/jp/movie/play.cgi?movie=j\\_ohayou\\_20130508\\_2385](http://cgi4.nhk.or.jp/eco-channel/jp/movie/play.cgi?movie=j_ohayou_20130508_2385)

#### 立山

[http://cgi2.nhk.or.jp/archives/michi/cgi/detail.cgi?dasID=D0004040010\\_0000](http://cgi2.nhk.or.jp/archives/michi/cgi/detail.cgi?dasID=D0004040010_0000)

#### 黒部峡谷・ダム

[http://cgi2.nhk.or.jp/archives/michi/cgi/detail.cgi?dasID=D0004500220\\_0000](http://cgi2.nhk.or.jp/archives/michi/cgi/detail.cgi?dasID=D0004500220_0000)

#### 神通川

[http://cgi4.nhk.or.jp/eco-channel/jp/movie/play.cgi?movie=j\\_toyama\\_20120319\\_1840](http://cgi4.nhk.or.jp/eco-channel/jp/movie/play.cgi?movie=j_toyama_20120319_1840)

### 新潟県

佐渡尖閣湾 <http://www.youtube.com/watch?v=n0iH9u0-wFE>

トキ [http://cgi4.nhk.or.jp/eco-channel/jp/movie/play.cgi?movie=j\\_ohayou\\_20120605\\_1921](http://cgi4.nhk.or.jp/eco-channel/jp/movie/play.cgi?movie=j_ohayou_20120605_1921)

### 群馬県

#### 富岡製糸場

[http://cgi2.nhk.or.jp/archives/michi/cgi/detail.cgi?dasID=D0004430561\\_0000](http://cgi2.nhk.or.jp/archives/michi/cgi/detail.cgi?dasID=D0004430561_0000)

#### 高崎だるま

[http://cgi2.nhk.or.jp/archives/michi/cgi/detail.cgi?dasID=D0004990538\\_0000](http://cgi2.nhk.or.jp/archives/michi/cgi/detail.cgi?dasID=D0004990538_0000)

#### 草津温泉

[http://cgi2.nhk.or.jp/archives/michi/cgi/detail.cgi?dasID=D0004990300\\_0000](http://cgi2.nhk.or.jp/archives/michi/cgi/detail.cgi?dasID=D0004990300_0000)

伊香保温泉 <http://www.youtube.com/watch?v=yAz77mOTJos>

#### 赤城山

[http://cgi2.nhk.or.jp/archives/michi/cgi/detail.cgi?dasID=D0004060019\\_0000](http://cgi2.nhk.or.jp/archives/michi/cgi/detail.cgi?dasID=D0004060019_0000)

## 高田の独り言

### 北陸 富山県以西と新潟県

「北陸」というのは近畿を中心として北にある陸地という意味です。この京都中心の地理概念は、中

国地方のことを近国（近畿）と遠国（九州）の間にあるから「中国」とよんだり、「東海」を京都の東の海岸だからこのように呼んだりしたことと同じです。

また、そのように呼ばれる以前は漠然と「越の国」と呼ばれていました。ですから石川県をのぞく北陸各県の旧国名には、「越」の字がつきます。これも京都を中心にして手前の越の国が越前、すなわち福井県東部ですし、越の国の遠いところは「越後」、すなわち新潟県、そして越前と越後の間にある越中が富山県です。また、伝統的なものには「越」という字をブランドとする傾向も強いですね。「コシヒカリ（越光）」は越前ですし、お酒でいうと越後の「越の寒梅」など、左党でなくともご存知でしょう。

しかしこの「北陸」という概念も、きちんとどこからどこまでと決まっているわけではありません。「北陸四県」という場合と「北陸三県」という場合があり、「三県」の場合は新潟県が含まれません。新潟はいわば「北陸の補欠選手」と言いましょうか、群馬と一緒に「上越」、または群馬、長野と一緒に「上信越」となったりして、変幻自在です。

地質学的にフォッサマグナが富山と新潟の間で分断することもあります。文化的にみても富山県以西が関西文化の影響が強いのに対し、新潟県は関東との結びつきが強いようです。方言アクセントにしても、富山県以西は京阪アクセント、新潟の大部分は東京アクセントです。関西に住んでいた頃、石川・福井の学生は普通に関西弁でしたが、新潟の学生は関西弁を駆使できず、富山の学生はその中間、といった人が多かったです。そもそも、新潟の学生が関西に行くということは珍しかったようですが……。

歴史的にみても室町時代の関東管領として越後の上杉謙信が任じられたことや、戊辰戦争のときに越後の長岡藩は幕府側につき、奥羽越列藩同盟を形成したことなど、関東や東日本世界の一員であることを示しています。そして1970年代に新潟県選出の田中角栄首相が関越自動車道や上越新幹線を通してから、人流・物流ともに東京都の結びつきが強化されました。

このように「中部地方」に関しては、日本海側、中央高地、太平洋側といった気候的な区別に目がいきがちですが、フォッサマグナを境に生ずる生活文化や生活圏の相違にも着目されれば発見も多いことでしょう。

### 金沢 加賀百万石の城下町

金沢は言わずと知れた加賀百万石の城下町です。「石高」はその藩でどれだけの米がとれるかを表すものですが、米が現金に換えられた江戸時代のことですからいまでいうならGDPのようなものです。そして当時日本最高のGDPを誇ったのがこの加賀前田藩で、その首府が金沢なのです。

前田氏の居城、金沢城は、天守が焼失したためか「城」というより「公園」とみなされがちですが、ここは実に見事な、様々な種類の石垣が残っております。ただいま長期計画で金沢城全体を江戸時代そのままに復元しようとしています。櫓や城門を木造で復元するだけでなく、石垣の細部に至るまで忠実に復元するそのこだわりには脱帽です。

城の隣にあるのが、加賀百万石の芸術の粋を集めた庭園、兼六園です。夏と冬に訪れましたが、やはり冬に真っ白な雪化粧をした庭の方が美しさも引き立ちます。そして冬になるとこの庭で目立つのは、木のとっぺんから縄を斜め下に何本もおろした、まるで傘をすぼめてたてかけたかのような幾何学模様をした雪吊りです。これは豪雪地帯ですので、雪の重みで松の木が折れないようにしたものです。

また、茶道文化が浸透し、庶民の生活にも溶け込んでいるうえに和菓子が非常に発達しているというのも特徴です。もちろん兼六園にもお休み処で一服いただけます。

このような文化の高い金沢の背景に、経済的な優位性があることはいまでもありません。金沢は金箔の技術や加賀友禅、そして石川県南部の九谷焼、能登半島には輪島塗など、それこそ日本を代表する工芸を有しています。今でいうならハイテク工業国とでもいえるかもしれません。農業国でもあり工業国でもあるドイツのようなものではないでしょうか。これが城下町金沢の高い「GDP」を支えたのです。

本州日本海側の都市としては新潟市に次ぐ大都市ですが、米軍の空襲なども奇跡的にほとんど受けていない金沢は、武家屋敷や茶屋街が昔のまま落ち着いたたたずまいを残しています。伊予の大洲や長州

の萩、出雲の松江などと並んで、あらゆる意味で「城下町の代表格」といえるかもしれません。

## 上州温泉巡り

群馬県の旧国名は旧国名「上野」と書いて「こうづけ」と読みます。ここから群馬のことを「上州」「上毛」とも呼ぶのですが、温泉大国上州の「三名泉」に数えられるのが草津温泉、伊香保温泉、そして四万温泉です。（諸説あり）



↑ 高温の湯を冷ます草津温泉「湯畑」

様々な温泉番付で長い間第一位の座を保ってきたのが、長く曲がりくねった道を上って降りてたどり着く群馬県の草津温泉です。古代から薬効が高いとして知られてきたのですが、実際に入ってみるとお湯の温度が熱いうえ、肌がひりひりするほど。ほぼすべての菌を死滅させられるというのも納得です。

この薬効を医学的に証明したのは明治期にお雇い外国人として来日したドイツのベルツさんです。この町では今なお町民に愛されていて、道の駅には彼の資料館や銅像もあります。また街全体がなんとなく茶色いドイツ風の屋根が多く、和風な中にドイツの高原をイメージした雰囲気が漂っています。

この草津温泉のシンボルが、高温なお湯を冷ますために広場に田の字型の木枠をいくつもつなげ、そこにお湯を流し、最後に木製の大きな樋から滝壺に落とす施設「湯畑」です。硫黄の匂いが立ち込めるこの湯畑で冷まされたはずの温泉水ですが、それでも手をつけられないほど熱い。これが各温泉に分かれて、さらに冷まされ使用されるのです。

大阪弁のガイドさんらしき人が横で説明していました。「草津温泉の語源は、硫黄が『くっさー』、そしてお湯が『あっつー』、ですから『くっさー、あっつー』温泉というのが草津温泉になりました。」もちろんこれを本気にとる人はいないでしょうが・・・。

一方、群馬県の中心に位置する榛名山。ふもとからは比較的広めの走りやすいワインディングロードを上っていき、森林を駆け抜けると、ついに帽子を伏せたような形の榛名山山頂が木と木の間に見えてきます。「榛名富士」というには小さいけれど、その均整とれた姿がふもとの丸いカルデラ湖、榛名湖に映るのは一見の価値があります。山中に静かにたたずむこの湖は、ヨーロッパ的な感じがします。思わず「♪静かな湖畔の森の陰から・・・」という輪唱を思い出してしまいました。

この湖と山を愛したのが、大正前後の美人画家、竹久夢二。夢二はこの山のふもとの伊香保温泉に滞在し、作品を描きました。今も町はずれに竹久夢二伊香保記念館があります。入場料が2000円と安くはないけれど、大正時代のオルゴールコンサートやガラス製品といった当時の上流文化、そして夢二の美人画など、大正ロマンに浸るのも悪くないでしょう。

しかしなによりもこの温泉街で特徴的なのは365段もある石段街です。この石段街の周りに温泉や食堂、土産物屋、無料の足湯等が軒を連ねるのも圧巻。温泉街全体のムードが大正っぽく統一されているので、大正ロマンマニアの私には印象的でした。



#### ↑ 365 段の石段が続く伊香保温泉

最後に、天下の草津温泉や伊香保温泉に比べると、影が薄いかもしれませんが、これらの温泉からさらに山奥に行くと、行き止まりにあるのが四万（しま）温泉です。四万種類もの病が治ることから命名されたというこの山あいの谷側に沿った温泉は、飲泉所といわれる多少しょっぱい「温泉水を飲む場所」が点在することでも知られています。

草津や伊香保と比べると客は少なく、温泉街も若干さびれている感がいなめません。草津の湯畑や伊香保の石段のように、写真映りの良い観光地っぽさはあまりないのですが、スマートボールや射的の店がならぶひなびた雰囲気は漂い、かといって本格的な「秘湯」のような敷居の高さもなく、個人的には好きです。そこで「写真映りのよいもの」を一点あげるとすると、積善館という旅館があります。「大正ロマン」の宿とはいうけれど、ここは「千と千尋の神隠し」の温泉宿のモデルとなった旅館です。赤い橋を渡ったところにたたずむ古いながらも風格のある旅館では、日帰りで温泉につかることもできます。大正時代に生きていたわけではないけれど、伊香保温泉の温泉街よりは、「大正ムード」においてはこちらに軍配をあげたくなりました。

これらの温泉地は電車で行くと不便ですので、東京から直行のバスが安くて便利です。一次試験が終わったら遊びに行かれてはいかがでしょうか。